

平成27年3月20日（金）

国土交通省
東日本高速道路株式会社



つながる。まわる。圏央道。
圏央道(久喜白岡JCT～境古河IC)が開通します



— 記者発表資料 —

けん おう どう く き しら おか さかい こ が
圏央道 久喜白岡JCT～境古河IC間
3月29日15時に開通します。(第2報)



～つながる。まわる。圏央道。～
国際競争力と成長を支える道路

平成27年度にかけて、次々とつながる、圏央道。
埼玉県と茨城県がつながります。

◇ 開通による主な効果 ◇

圏央道の整備により、東北道や常磐道などの放射方向の高速道路を結ぶ道路ネットワークが形成されます。広域的な人・物の交流により民需が拡大し、地域経済の好循環が生まれます。さらに、緊急・災害時の対応力強化に貢献します。

効果① 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 環状道路の整備により、沿線に物流施設や工場が立地する等、民間の投資を喚起します。

効果② 地域経済の好循環 ～新たな広域ネットワークの形成～

- 都心を経由せず、北関東方面と成田国際空港を結ぶ新たな広域ルートが形成され、人・物の交流が活発となり、地域経済の好循環が期待されます。

効果③ 緊急・災害時の対応力強化 ～安全・安心の確保～

- 救命救急センターまでの所要時間が短縮され、迅速な救急活動に寄与します。

効果① 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 環状道路の整備により、沿線に物流施設や工場が立地する等、民間の投資を喚起します。
- 運送時間の短縮や物流の効率化等により企業進出が加速し、雇用の促進など、地域の発展に寄与することが期待されます。

物流施設や工場の立地等、民間の投資を喚起

【圏央道の早期に開通した区間】

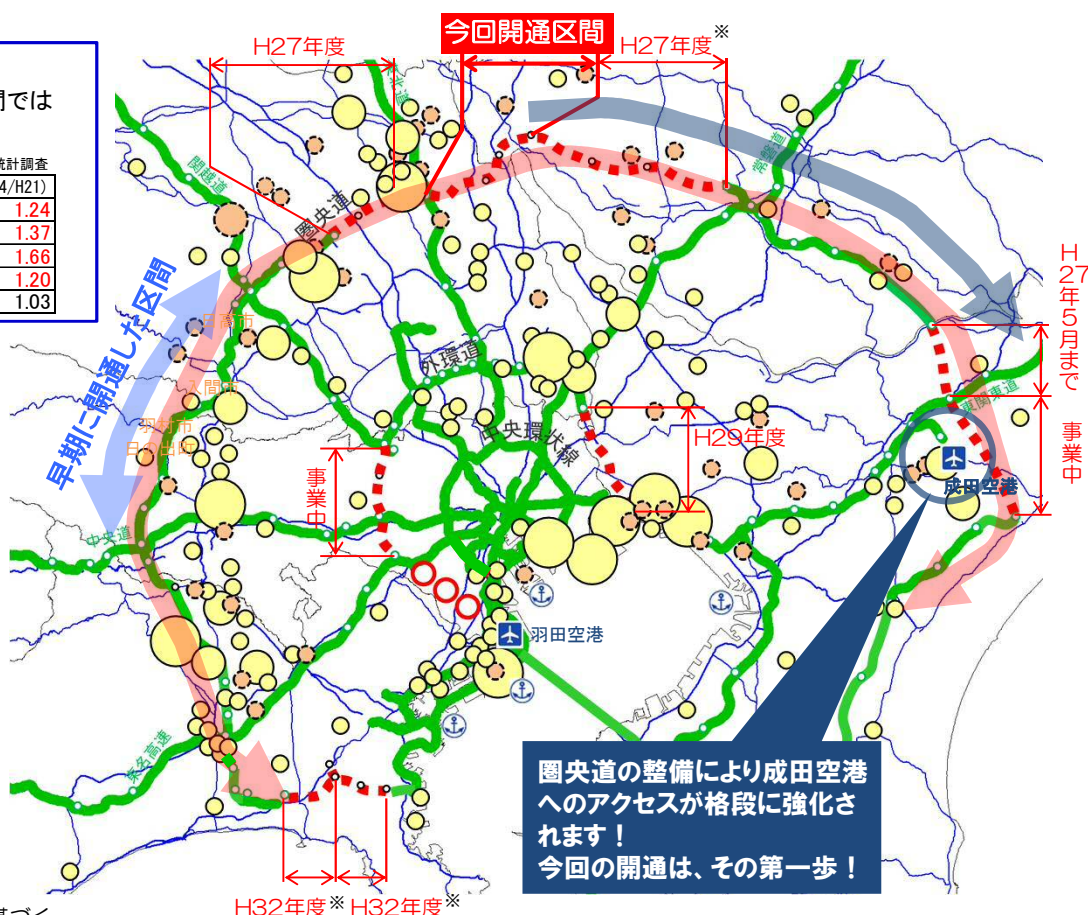
・平成19年に全通した関越道～中央道間では既にストック効果が発現

市町村名	H21	→	H24	(H24/H21)
日高市	1,271	→	1,579	1.24
入間市	2,823	→	3,872	1.37
羽村市	3,823	→	6,350	1.66
日の出町	529	→	637	1.20
埼玉県+東京都	197,983	→	203,373	1.03

出典：工業統計調査

凡 例

道路	
高速道路	●
高速道路事業中	●
国道	●
企業立地件数	
立地済み	○
立地予定	○
(H26年9月時点)	○
1～2件	○
3～4件	○
5件以上	○



圏央道の整備により成田空港へのアクセスが格段に強化されます！
今回の開通は、その第一歩！

※区間の開通時期については、土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

出典)国土交通省調べ
(平成7年以降の物流施設、工業団地、工場の立地を抽出)

【圏央道沿線企業の声】

【茨城県五霞町内：食料品製造業】



食料品製造
A社

- ・当社では、製品を静岡県裾野市にある物流センターへ久喜ICから東北道を使って出荷しています。
- ・圏央道がつながると、**運送時間の短縮により、商品の早期納入が可能になると期待しています。**

【埼玉県幸手市内：印刷製造業】



印刷製造業
B社

- ・原料（材料）、製品は、東京や神奈川以西への配送が多いため、大半が高速道路を利用しています。
- ・圏央道の開通により、首都圏の高速道路の渋滞を回避して、全国各地に配送できるため、物流の効率化が期待されます。

【五霞町商工会の声】



五霞町商工会

- ・圏央道の開通に伴い、周辺開発が進められていますが、**今後、企業進出が加速する**と思います。
- ・これら企業が**地域の発展に寄与することを期待**しています。

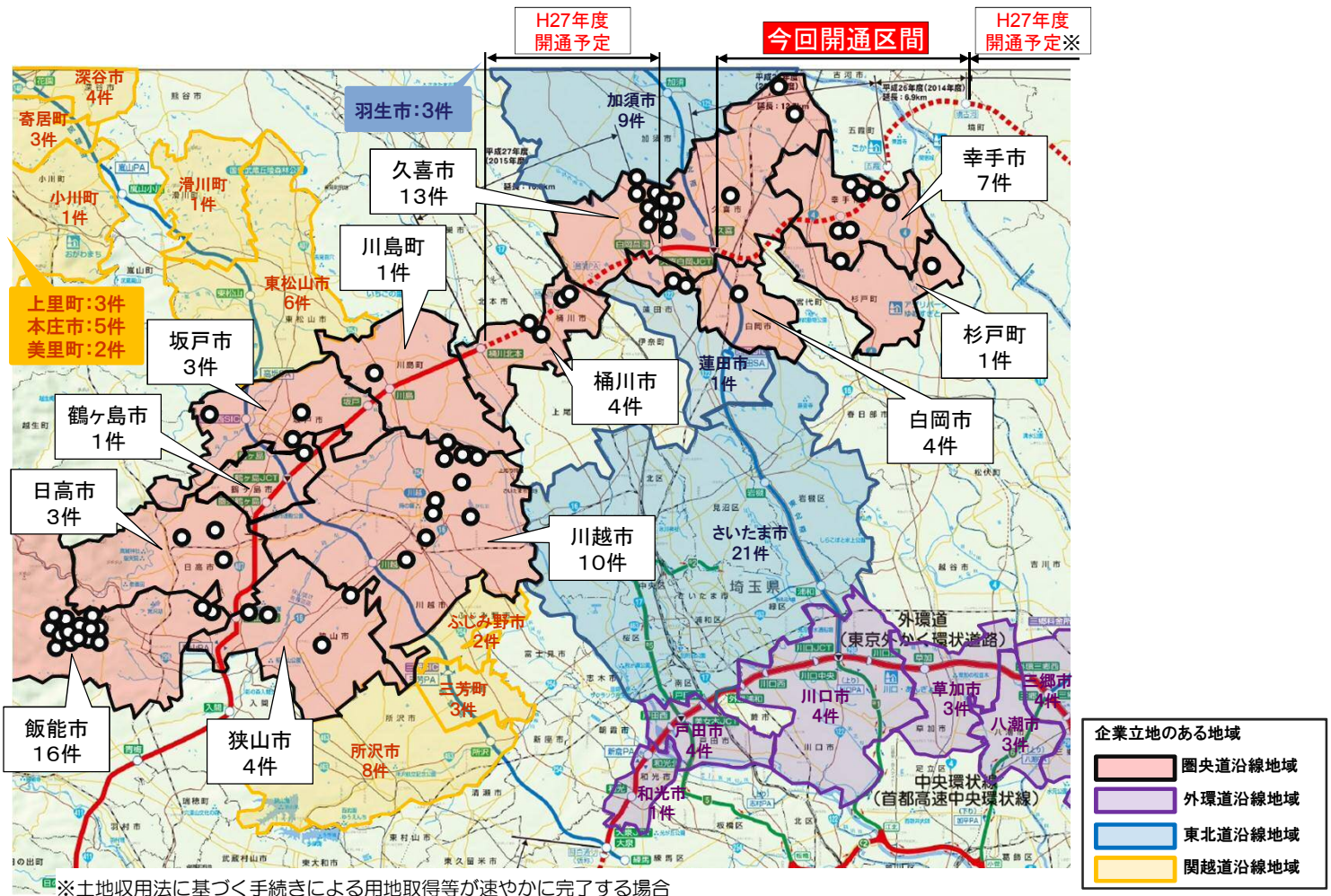
出典)平成27年1～3月 ヒアリング調査
(北首都国道事務所調べ)

効果① 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 圏央道沿線は、圏央道により都心を通らず広域移動ができ、都心部に比べ、まとまった事業用地が確保しやすいなど、物流施設立地の適地となっています。
- 埼玉県内において、開通済みの圏央道沿線に企業が立地し、開通予定区間沿線でも企業立地が進行しており、工業地の地価上昇率が高水準となっています。

企業の立地等、民間の投資を喚起

【圏央道(埼玉区間)沿線地域の企業立地状況(H22.4～H26.12)】



圏央道沿線地域での立地件数 67件(全201件の3割強)

〈その他高速道路沿線地域での立地件数〉

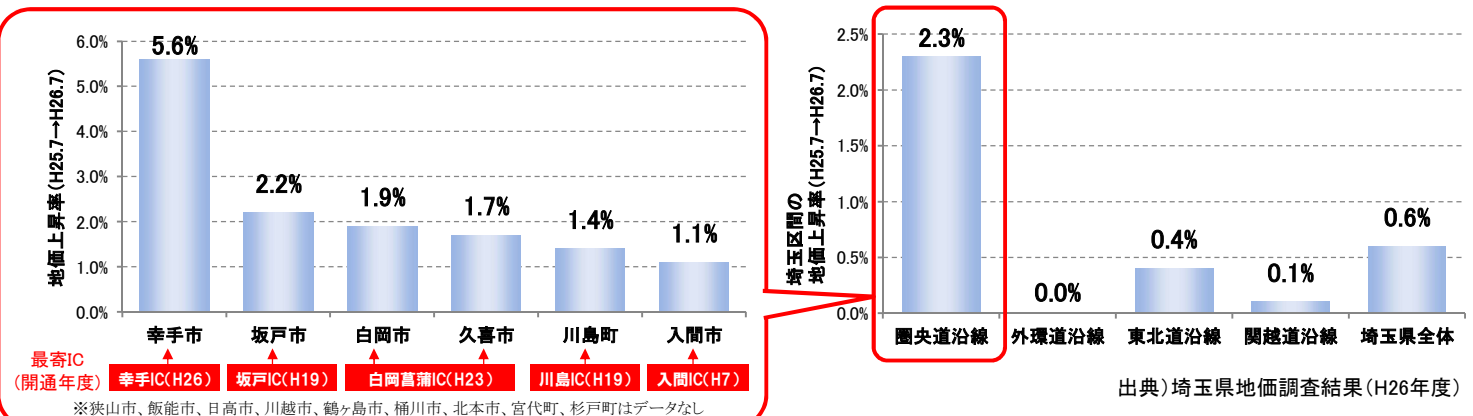
- ・外環道沿線(川口、三郷等:19件) ・東北道沿線(さいたま、加須等:34件)
- ・関越道沿線(所沢、東松山等:38件)

出典)埼玉県

「チャンスメーカー埼玉戦略Ⅱ立地企業一覧(公表分のみ) H22.4～25.3」

「チャンスメーカー埼玉戦略Ⅲ立地企業一覧(公表分のみ) H25.4～26.12」

【圏央道(埼玉区間)沿線地域(工業地)のH26地価上昇率(前年変動率)】

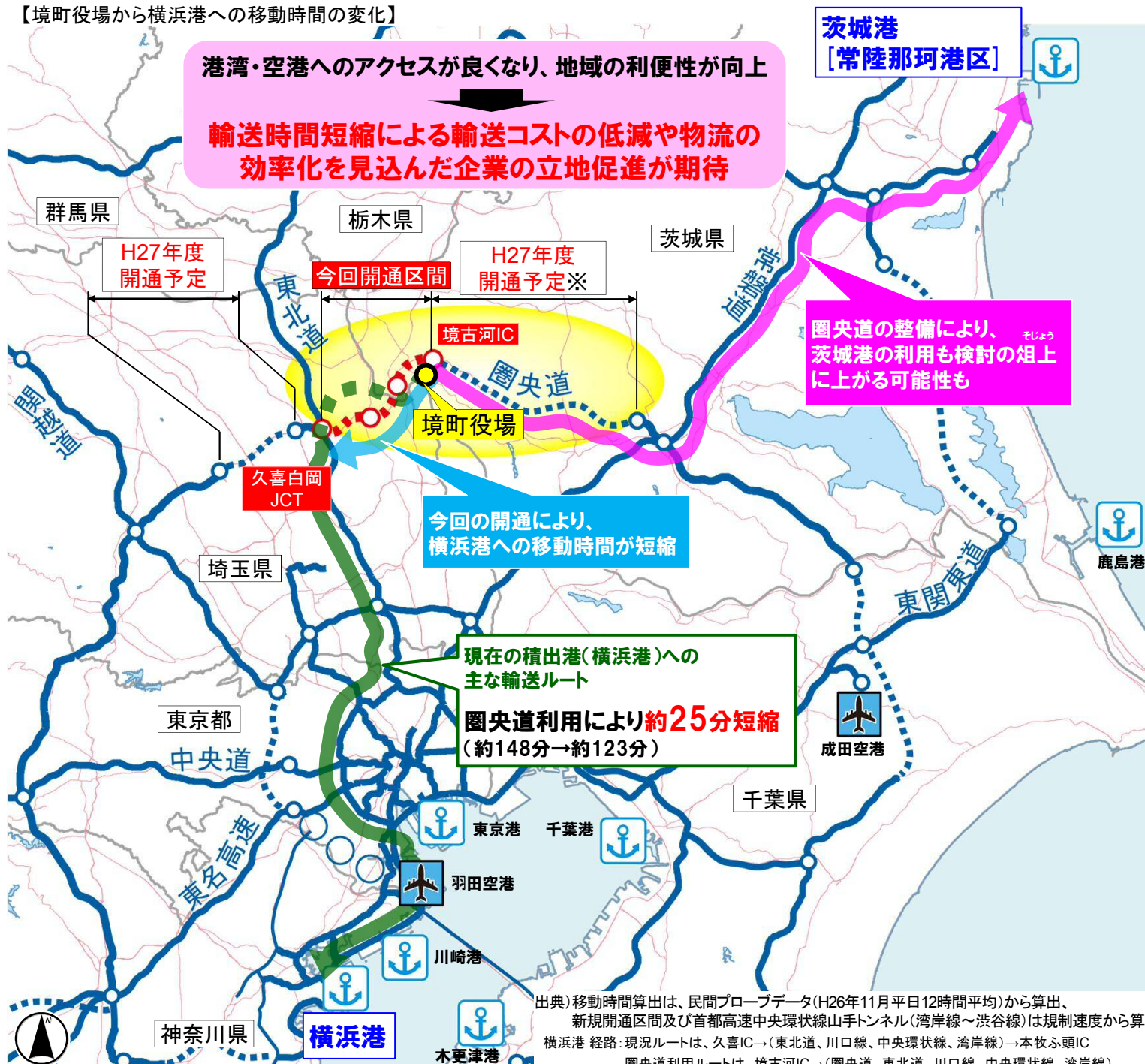


効果① 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 次々とつながる圏央道の整備により、港湾・空港へのアクセスが良くなり、地域の利便性が向上。輸送時間短縮による輸送コストの低減や物流の効率化を見込んだ企業の立地促進が期待されます。

圏央道の整備により、地域の利便性が向上。企業の立地促進が期待

【境町役場から横浜港への移動時間の変化】



※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

【圏央道沿線企業の声】

【茨城県古河市内：自動車メーカ一】



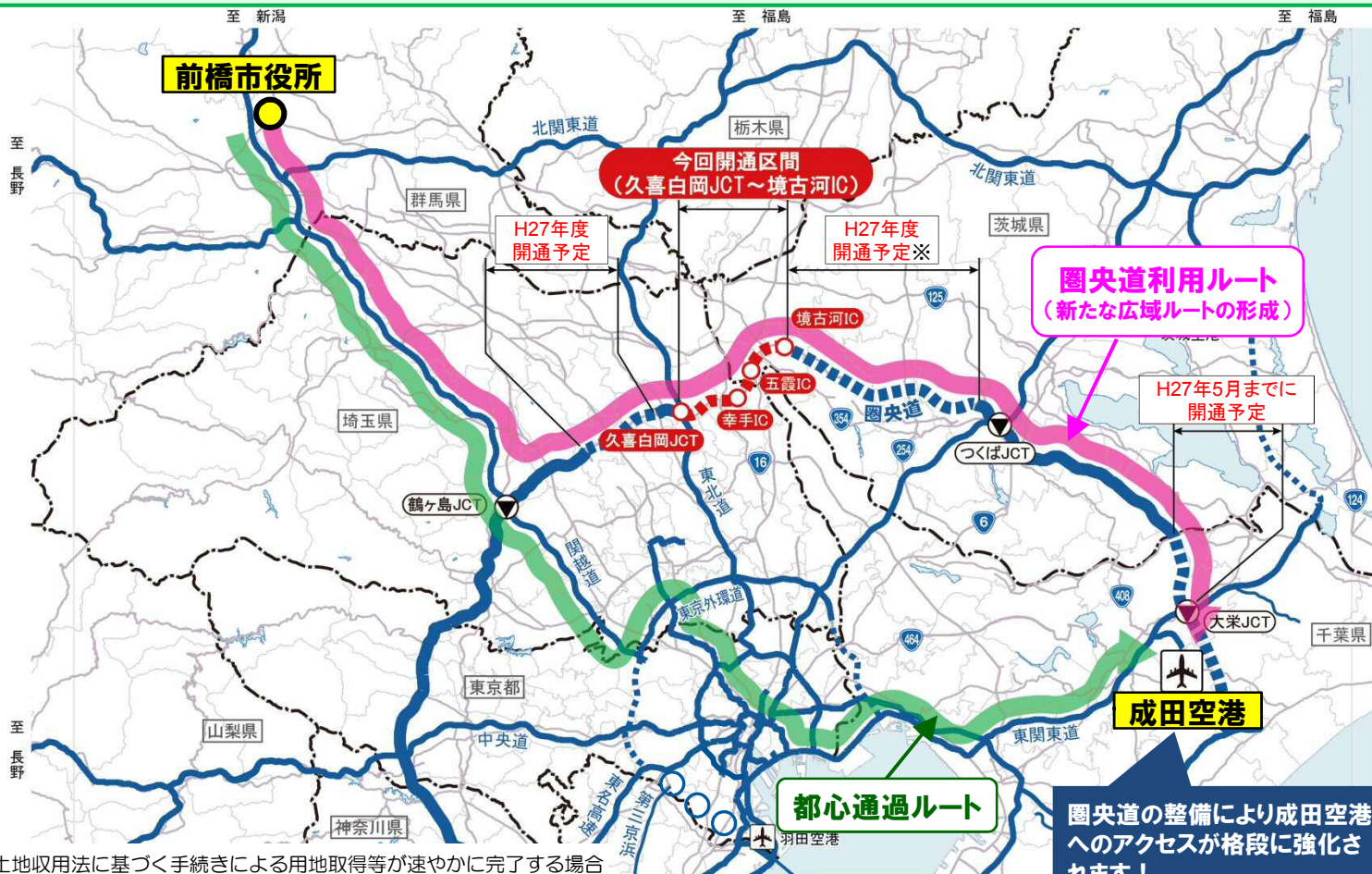
自動車メーカー
C社

- ・既存拠点との連絡の利便性、商品輸送の利便性、また既存の仕入れ先との距離感などを踏まえて、企業立地を決定しました。
- ・埼玉・茨城間全線開通時には、既存拠点との連絡の利便性が期待できます。また、新たな積出港（茨城港〔常陸那珂港区〕など）の利用も検討の俎上^{そじょう}に上がる可能性が考えられます。

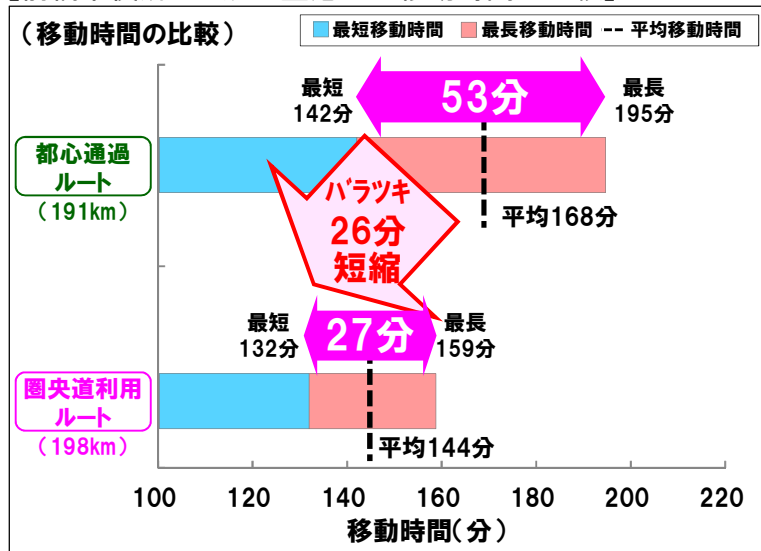
効果② 地域経済の好循環 ～新たな広域ネットワークの形成～

- 次々とつながる圏央道の整備により、都心を経由せず、北関東方面と成田国際空港を結ぶ新たな広域ルートが形成され、人・物の交流が活発となり、地域経済の好循環が期待されます。
- 圏央道を経由することにより、前橋市役所～成田空港間の移動時間のバラツキが大幅に減少し、道路混雑等による到着遅れの少ない移動が可能になるなど、時間信頼性の高い広域ネットワークが形成されます。

圏央道の開通で、新たな広域ネットワークが形成



【前橋市役所から成田空港への移動時間の比較】



【成田国際空港株式会社の声】



成田国際空港
株式会社

- 成田空港にとって、**圏央道は重要なアクセスツールです。**
- 圏央道がつながると、北関東から都心の渋滞に巻き込まれることなく、**ダイレクトにアクセスできるため、北関東方面からの利用が増加することを期待**しています。

出典)平成27年3月 ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)

出典)移動時間算出は、民間プローブデータ(H26年10月平日12時間)から算出、新規開通区間は既開通区間の延長当たり移動時間から算出。

経路：都心通過ルートは、前橋IC→(関越道、外環、池袋線、都心環状線、深川線、湾岸線、東関東道)→新空港IC

圏央道利用ルートは、前橋IC→(関越道、圏央道、東関東道)→新空港IC

効果② 地域経済の好循環 ～観光拠点がより身近に～

- 圏央道（久喜白岡JCT～境古河IC間）の開通により、東北道等へのアクセスが向上し、平成26年6月に世界遺産登録された「富岡製糸場」をはじめ、主要観光地への移動時間短縮が期待されます。
- 次々とつながる圏央道の整備により、観光地への訪問回数が増加し、新たな観光需要の喚起が期待されます。

主要観光地への移動性が向上

【境町役場から主要観光地への移動時間の変化】

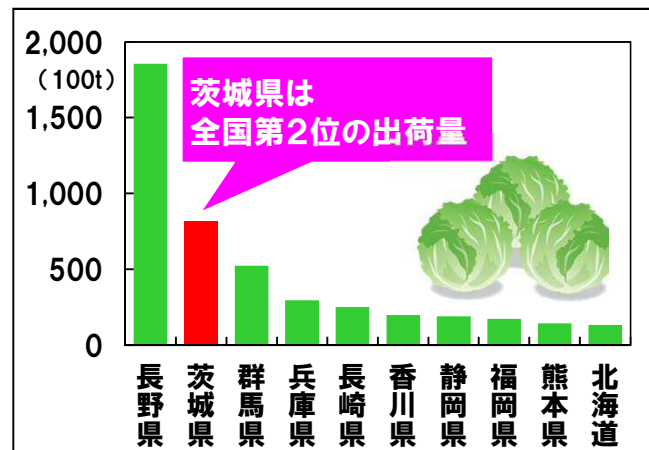


効果② 地域経済の好循環 ～物流への貢献～

- 境古河ICが開通する地元の境町は、茨城県レタスの有数な産地であり、茨城レタスの発祥の地です。なお、茨城県は全国第2位の出荷量を誇ります。
- 圏央道（久喜白岡JCT～境古河IC間）の開通により、東北道へのアクセスが向上し、鮮度が第一のレタスを都心方面に短時間で配送することが可能になります。

鮮度が第一のレタスを都心方面に短時間で配送することが可能に

【レタス出荷量(全国上位10位)】



出典：平成25年度産野菜生産出荷統計(農林水産省)

【JA茨城むつみ関係者の声】



JA関係者

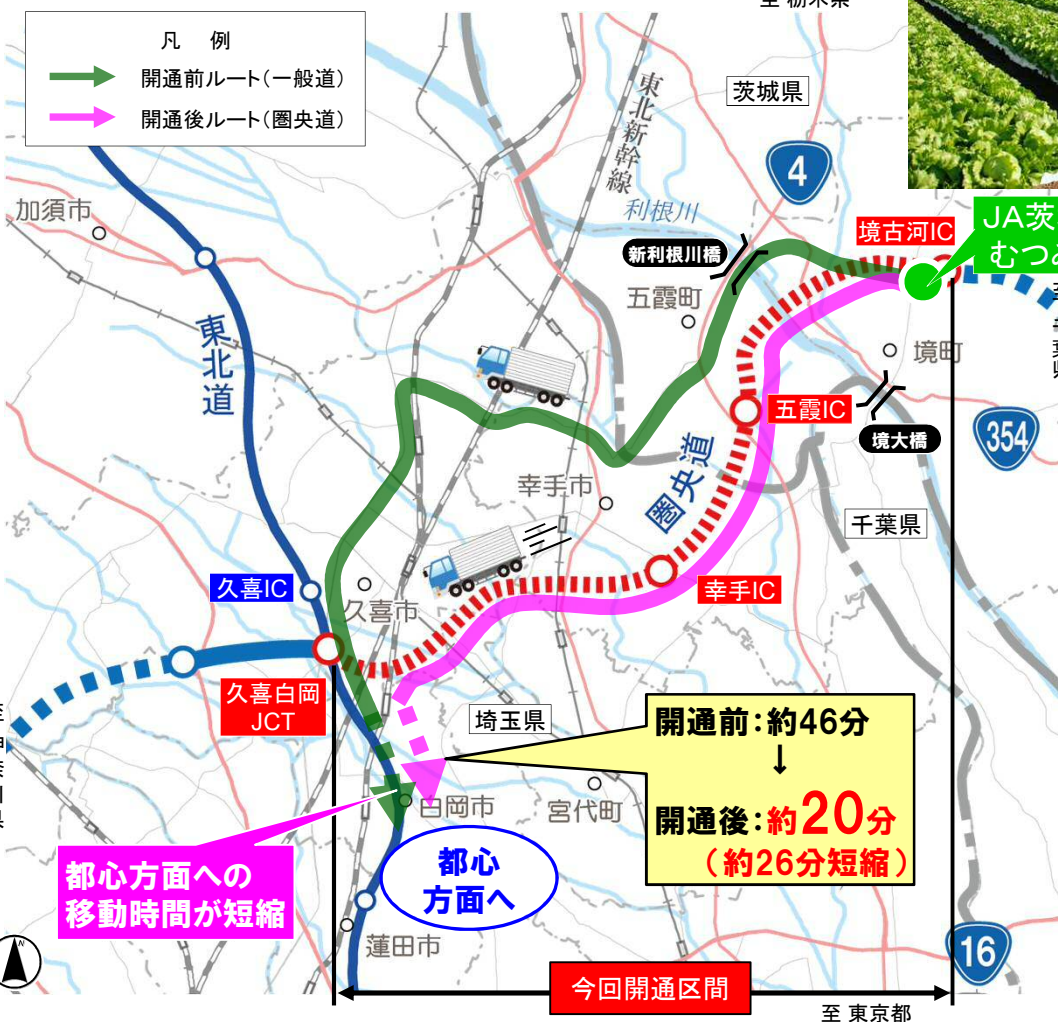
- ・当JAでは、レタス、キャベツ、白菜、トマト、ネギなどの野菜を都心方面や東北方面へ出荷しており、**都心方面への出荷が7割以上**を占めています。
- ・境古河ICの開通により、**市場への到達時間が短縮し、鮮度の向上**が期待されます。
- ・また、**利根川渡河部などでの渋滞を回避できるため、安定した配送が期待されます。**

出典)平成26年12月 ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)



出典：境町ホームページ

【JA茨城むつみから久喜白岡JCTへの移動時間の変化】



出典：移動時間算出は、民間プローブデータ(H26年11月平日12時間平均)から算出、新規開通区間は規制速度から算出。

新利根川橋の渋滞状況



撮影：平成27年3月13日(金)

境大橋の渋滞状況



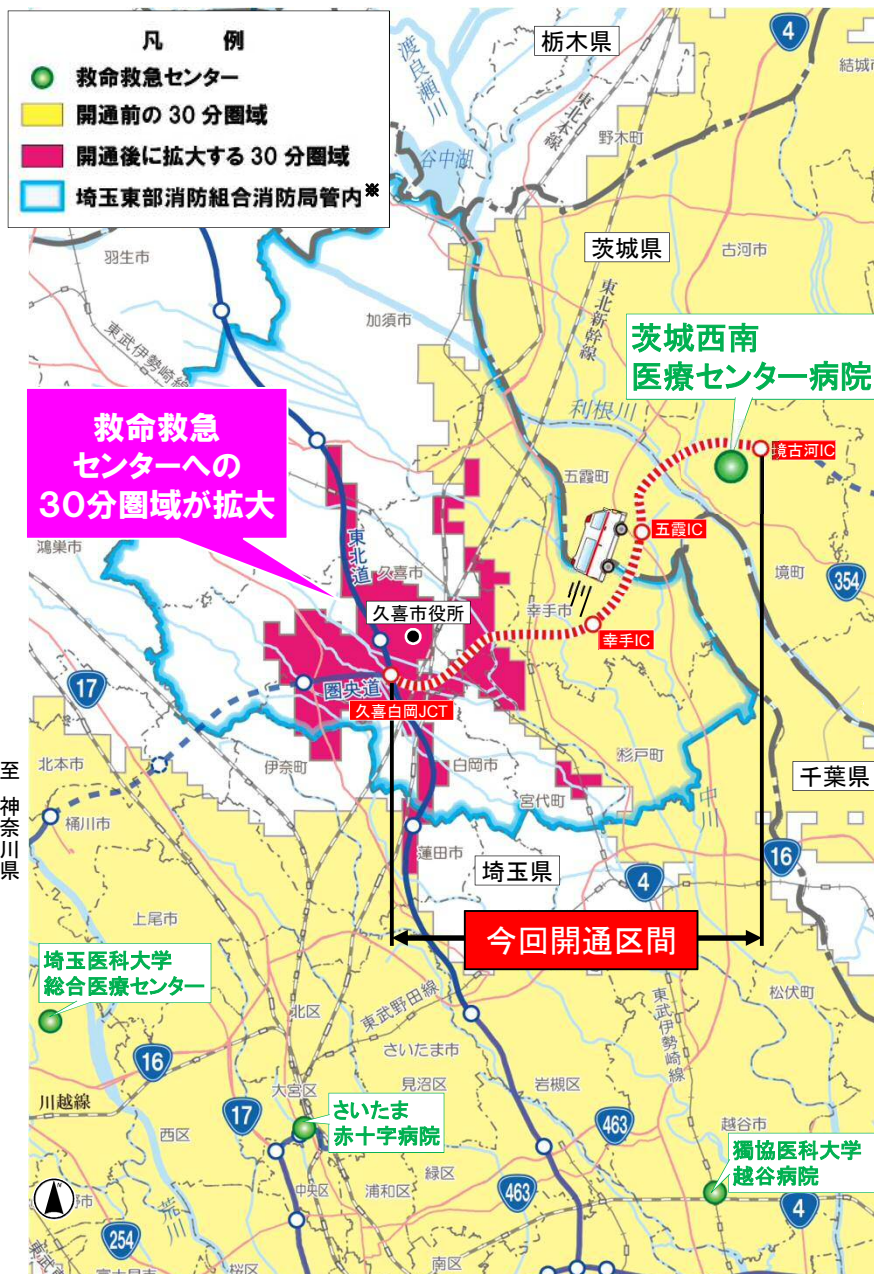
撮影：平成27年2月4日(水)

効果③ 緊急・災害時の対応力強化 ～安全・安心の確保～

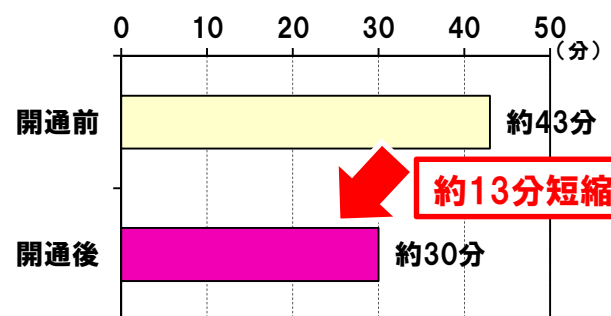
- 圏央道（久喜白岡JCT～境古河IC間）の開通により、救命救急センターまでの所要時間が短縮され、迅速な救急活動に寄与します。
- 埼玉東部消防組合消防局管内※において、茨城西南医療センター病院への30分圏が拡大し、より早く搬送することが可能になります。 ※加須市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町、杉戸町（4市2町）

救命救急センターへより早く搬送することが可能に

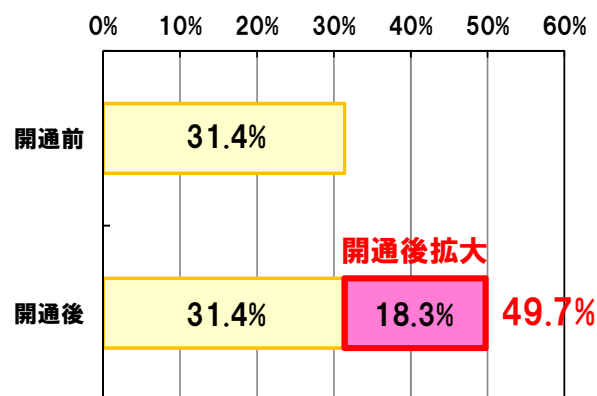
【圏央道（久喜白岡JCT～境古河IC間）開通による
救命救急センターへの30分圏域の変化】



【久喜市役所から茨城西南医療センター病院までの所要時間の変化】



【埼玉東部消防組合消防局管内における救命救急センター30分圏域カバー人口率】



出典) 時間圏域算出は、平成22年度道路交通センサスの12時間平均旅行速度から算出、新規開通区間は規制速度から算出。
30分圏域はメッシュ単位で計測し、カバー人口は該当するメッシュ単位の人口（平成22年国勢調査500mメッシュ）を集計。

【埼玉東部消防組合消防局の声】



消防関係者

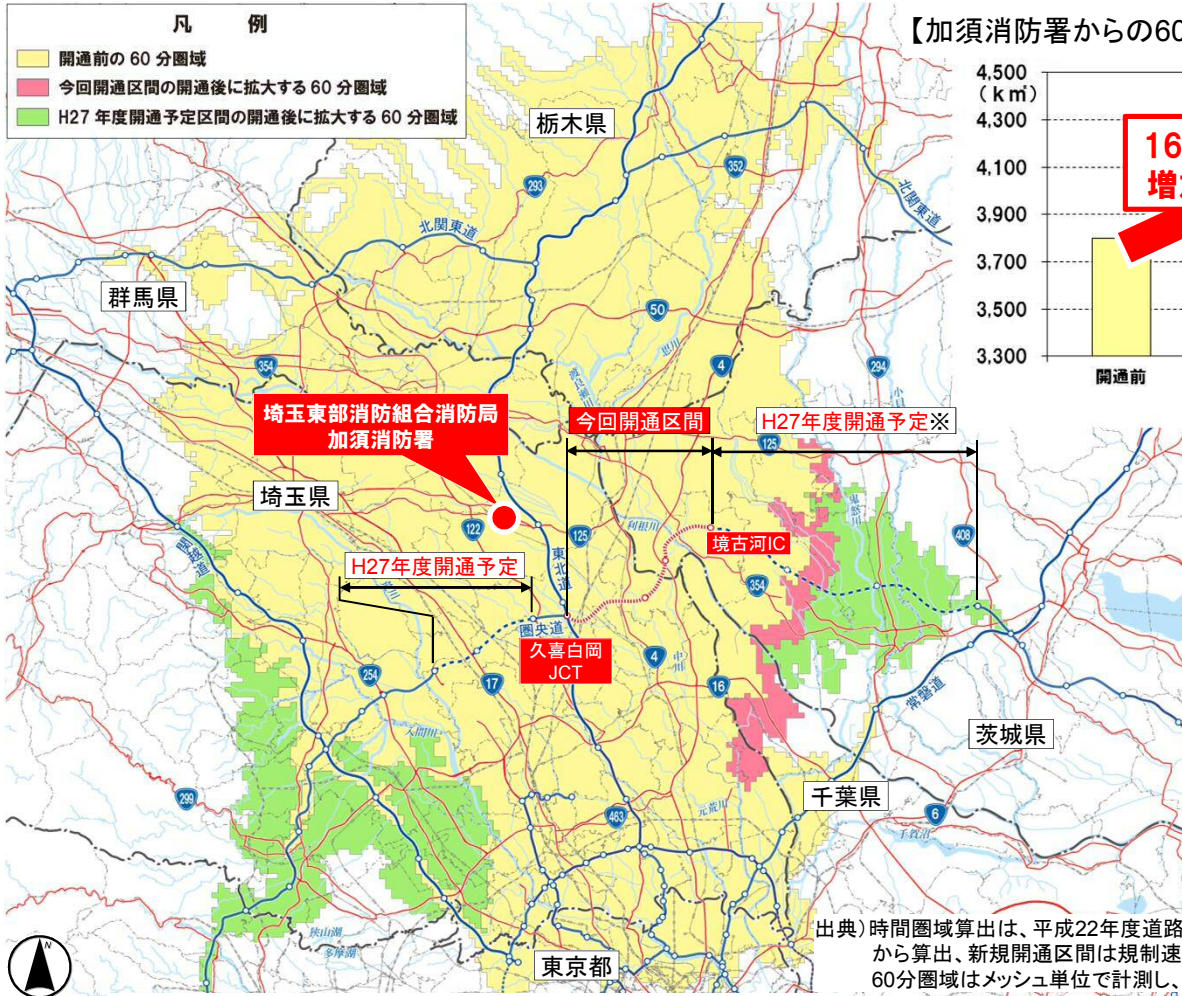
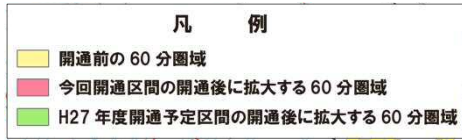
- ・当管内では、茨城西南医療センター病院へ年間約300件程度搬送しています。
- ・圏央道が整備されると、搬送先の選択肢が増えるとともに、大幅に時間が短縮され、より早く救急病院への搬送が可能になります。
- ・特に、重篤な傷病者の搬送では緊急を要するため、5分の短縮でも非常に効果が高い。
- ・高速道路は信号交差点の通過がないため、減速・加速による傷病者への負荷軽減にも寄与します。

出典) 平成27年2月 ヒアリング調査(北首都国道事務所調べ)

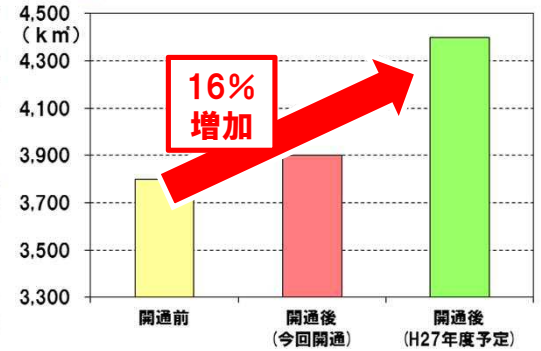
効果③ 緊急・災害時の対応力強化 ～安全・安心の確保～

- 今回開通区間に近い埼玉東部消防組合消防局（加須消防署）では、平成26年度に「津波・大規模風水害対策車両」が配備予定であり、圏央道の整備により、風水害における緊急消防援助隊の活動能力向上及び活動圏域拡大が期待されます。

【埼玉東部消防組合消防局加須消防署からの60分アクセス圏域の広がり】



【加須消防署からの60分圏域カバー面積の変化】



※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合

出典）時間圏域算出は、平成22年度道路交通センサスの12時間平均旅行速度から算出、新規開通区間は規制速度から算出。
60分圏域はメッシュ単位で計測し、カバー面積は該当するメッシュを集計。

注）圏央道開通による圏域の広がりを示すものであり、活動圏域を示したものではありません。

【埼玉東部消防組合消防局の声】



消防関係者

- ・平成27年度より、津波・大規模風水害対策車両等の**緊急消防援助隊車両が迅速に出動できることを期待**します。
- ・圏央道の整備により、**当該車両の活動圏域が広がることを期待**しています。

出典）平成27年2月 ヒアリング調査（北首都国道事務所調べ）

津波・大規模風水害対策車両（平成25年度より順次配備）

全長約9.3m、全幅約2.5mで、泥ねい地において高い走破性のある水陸両用バギー等の資機材を積載し、津波や大規模風水害による冠水地域での人命救助に特化した特殊消防車両



＜小型水陸両用バギーの活用状況＞



全国15消防本部に配備済み
新規に2消防本部に配備予定

＜配備先消防本部＞

都道府県名	消防本部名
1 北海道	苫小牧市消防本部
2 岩手県	北上地区消防組合消防本部
3 宮城県	塩釜地区消防事務組合消防本部
4 茨城県	日立市消防本部
5 埼玉県	埼玉東部消防組合消防局
6 神奈川県	平塚市消防本部
7 新潟県	新潟市消防局
8 富山県	富山県東部消防組合消防本部
9 愛知県	海部南部消防組合消防本部
10 大阪府	大阪市消防局
11 兵庫県	神戸市消防局
12 和歌山県	和歌山市消防局
13 島根県	江津邑智消防組合消防本部
14 岡山県	岡山市消防局
15 徳島県	徳島市消防局
16 熊本県	八代広域行政事務組合消防本部
17 沖縄県	那覇市消防局

※3及び5については平成26年度配備予定、その他は配備済み

出典）平成26年版消防白書（総務省消防庁）、消防の動き'14年8月号

圏央道開通区間概要

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。現在までに約200kmが開通しています。

- 今回開通区間の概要

路 線 名：国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

○開 通 区 間：久喜白岡JCT(埼玉県久喜市下早見)^{く き し し も は や み}～境古河IC(茨城県猿島郡境町西泉田)^{さ し ま く ん さ か い ま ち に し い す み だ}

○開 通 日：平成27年3月29日（日）15時

○延 長：19.6km

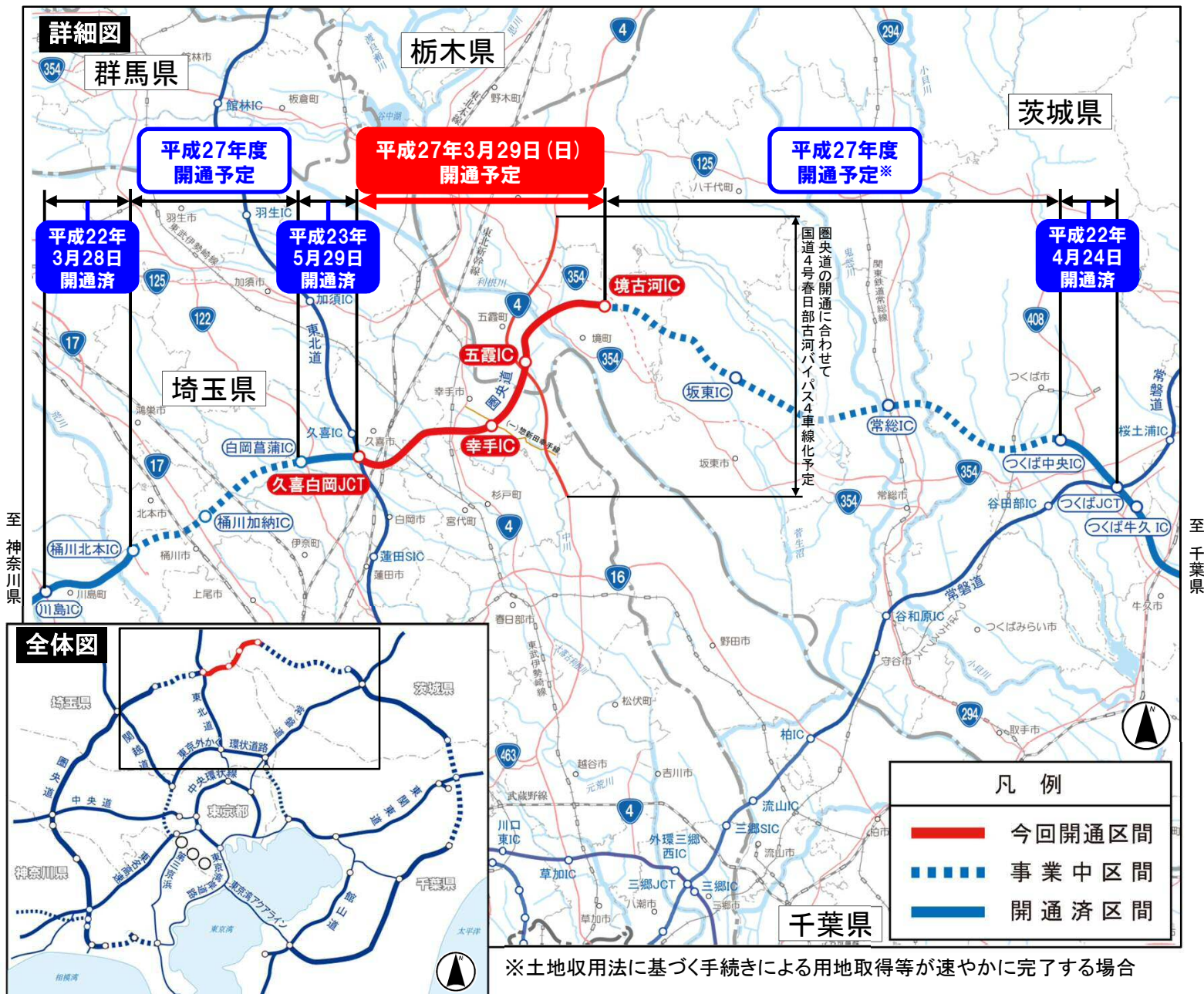
○車 線 数：暫定2車線

○開 通 IC：幸手IC、五霞IC、境古河IC

○アクセス道路：(一)惣新田幸手線^{そう し ん で ん さ っ て せん}、新4号バイパス※、国道354号バイパス

※圏央道の開通に合わせ4車線化整備中

■今回開通区間の位置図



高架部

(単位 : m)

土工部

■今回開通区間の状況

凡例	
———	今回開通区間
----	事業中区間
————	開通済区間

【インターチェンジの状況】

さかいこ が いばらきけん さしまぐんさかいまちにしいずみだ
境古河IC(茨城県猿島郡境町西泉田)

至五霞IC 至坂東IC
国道354号バイパス(事業中)
境古河IC
至千葉県

(平成27年1月撮影)



11/12

- 圏央道や首都高速中央環状線が続々と開通し、首都圏を強化するネットワークを形成。
- 圏央道沿線には企業立地が進んでおり、物流の効率性の向上や観光の促進に期待。

【開通区間】

- 3月 7日 首都高中央環状線(大橋JCT～大井JCT)
- 3月 8日 圏央道(寒川北IC～海老名JCT)
- 3月29日 圏央道(久喜白岡JCT～境古河IC)
- 5月まで 圏央道(神崎IC～大栄JCT)

【平成27年度開通区間】

- 圏央道(桶川北本IC～白岡菖蒲IC)
- 圏央道(境古河IC～つくば中央IC)※

続々
開通へ

※土地収用法に基づく手続きによる用地取得等が速やかに完了する場合



■首都圏3環状の整備による主な効果

圏央道沿線に民間企業が進出

- ・茨城県の新規工場立地件数は全国1位(H26)
- ・開通済区間(関越～中央道)では製造品出荷額が増加(1.2倍～1.7倍)
- ・ネット通販配送センターなど、物流施設も多く立地

渋滞を避けることが可能となり、物流の効率性が向上

空港アクセスが向上し、国内・海外からの観光を促進

- ・三環状により、空港から1時間で行ける観光施設が大幅増(1.8倍)
- ・大型商業施設や国際会議場も便利になり、インバウンド観光を促進

ルート選択が可能となり、災害時等のリダンダンシーを強化

出典) 国土交通省調べ